

ピアホームだより

2017. 6. 10

20年度アドボケイト会総会開催

5月20日(日)、29年度のアドボケイト会総会を開催致しました。総会は基本年1回、社員となっていていただいている方も多いのですが、高齢化も進み、長い年月マンネリ化?して委任状だらけ、理事ばかりの会になってしまいました。

この辺も世代交代を含む運営の刷新を考える時に来ているようです。

ピアホームの昨年度の経過

1、共同生活援助事業の経過

年度当初、通過型ピアホームⅠの5名、滞在型ピアホームⅡの4名とも定員充足でスタートし、経営的には安定した運営が見込まれました。しかし、ピアホームⅠで入院に至った利用者と不適合を起こした利用者2名が出て、それぞれ12月中に退所となったため、暫く空室となりました。その後、空き室家賃補助の範囲内(3か月)で3月には同時に埋まりましたので、順調な運

営ができたと思います。

これは、グループホーム運営を通じネットワークが広がり、運営方針や成果についても一定の評価を頂けるようになって来たことによると考えています。ホームには絶えず問い合わせが入り、こちらでも積極的に施設見学を受けています。

やむなく退所に至ったお二人は、抱える問題がグループホームだけで解決する枠を超えていたように思います。ホームとしては最善を尽くしたと自負していますが、その後の引継ぎ、フォローが必ずしもうまく行っていないので、未だに心残りに思っています。

ホームとして最善を尽くしますが、お話を持ってくる方も引き継ぐ方も、もう少し何とかならないものかともどかしい思いをしているのが本音のところではあります。精神障害者の支援の在り方にまだまだ問題点が多いということでしょう。

2 決算

前述のように、順調な運営の結果、収入は予測を少し上回りました。それに合わせ、一時金を多く出せることになりました。今年度はアドボケイト会として給与と任用体系の見直しを行い給与制度の改善も行っています。

近年、高齢者のグループホームなどの火災事故が社会問題となっていることから、消防法の改正が行われ、該当施設に対する自動火災報知設備の設置が義務付けられたことから、当所では、区の補助金を申請し、作年度中に設置致しました。今年度以降、ソフト面の対応が必要となってきます。

Fさん卒業アパートへ

サンライズからお引き受けをしたFさんがピアホームⅠを3年の満期で卒業しました。いつもニコニコ明るいムードメーカーですが、最後まで金銭管理が解決せず、金銭管理契約の導入や後見人準備をしながらの卒業でした。

一緒にアパート探しもしましたが、物件がないわけではありませんが、障害者、特に精神の場合は壁の厚さを感じました。これは、むしろ強まっている感—地域で生活することによるトラブル経験?—があるのではと推測してしまいます。これからは本当の正念場、そんな思いを込めて地域の生活を守っていかねばと思います。

今月の予定

<6月8日>新規入居者の顧問医面接